

松山市公式ウェブサイト AI ナビ機能構築業務委託 評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)	
(1) 趣旨の理解	趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目的を理解し、誰もが迅速に求める情報へ辿り着けるウェブサイトの構築に向けた提案ができていますか。 	10 <4>	
	現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・現サイトの課題だけでなく、ライフスタイルの多様化や AI の進化がもたらす社会的課題を理解し、流行に応じた提案ができていますか。 		
(2) 業務実績	業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトやアプリ、生成 AI 等の運用における知見、専門知識、ノウハウを有し、これまでに目に見えた業務実績を挙げているか。 	5 <2>	
(3) 業務執行体制	業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行のための人員配置及び役割分担が妥当か。 	5 <2>	
(4) 企画提案内容	機能要件	<ul style="list-style-type: none"> ・基本要件①～⑥が実現できる提案となっているか ・LLM の学習方法や RAG の設定方法は適切か ・機能要件①～⑥の提案は適切か ・アバター画面の UI は利用者にとって視認性の良いモノか ・ファンを獲得できるアバター演出やモーションを想定しているか 	190 <76>	
	回答デモンストレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・同一質問に対し、3つの回答タイプがそれぞれ本市が望む文章量や要約レベル及び表現で適切に回答されているか 		
	性能要件 および 運用サポート	性能評価		<ul style="list-style-type: none"> ・性能評価の方法は適切か ・十分な運用テストの計画がなされているか ・回答精度を向上させる PDCA は適切な提案となっているか
		運用サポート		<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況や回答結果を分析する手法が提案されているか ・サポート体制は適切か ・日進月歩の技術に対応していく提案となっているか
	ネットワーク設定および必要機器など	<ul style="list-style-type: none"> ・必要機器のスペックや設定は適切か ・既存ネットワークにかかるリスクや負担を最小限にとどめているか 		
	インシデントリスク対策	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階で想定のないリスクを念頭に入れた設計になっているか ・インシデントへの対応方針は適切か ・ISMAP 認証登録の状況はどうか 		
	パフォーマンス要件	<ul style="list-style-type: none"> ・質問から回答までの時間は適切か ・応答時間までのストレス回避策や、混雑時の対応方法は適切か 		
	保守に関する事項や LLM や API の上限に達した場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・LLM バージョンアップ時の対応方法は適切か ・AI ナビの利用件数の見込みは適正か ・利用料が上限に達した場合の対応方法は適切か 		
	独自提案	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的達成のための有効な独自提案か。 ・将来的な拡張性や他業務との連携など 		
(5) 価格	委託料の総額(消費税及び地方消費税を含む。)	$45 \text{ 点} \times \{1 - \text{提案額} / (\text{提案限度価格})\}$ (小数点以下切捨て)	45	
	月額使用料(LLM 利用料や運用サポート料)の総額(消費税及び地方消費税を含む。)	$45 \text{ 点} \times \{1 - \text{提案額} / (1,000,000 \text{ 円})\}$ (小数点以下切捨て)	45	
合 計			300	